



世界へ
旅する
絵本ボート

Let's share stories of our ocean by the picture book.

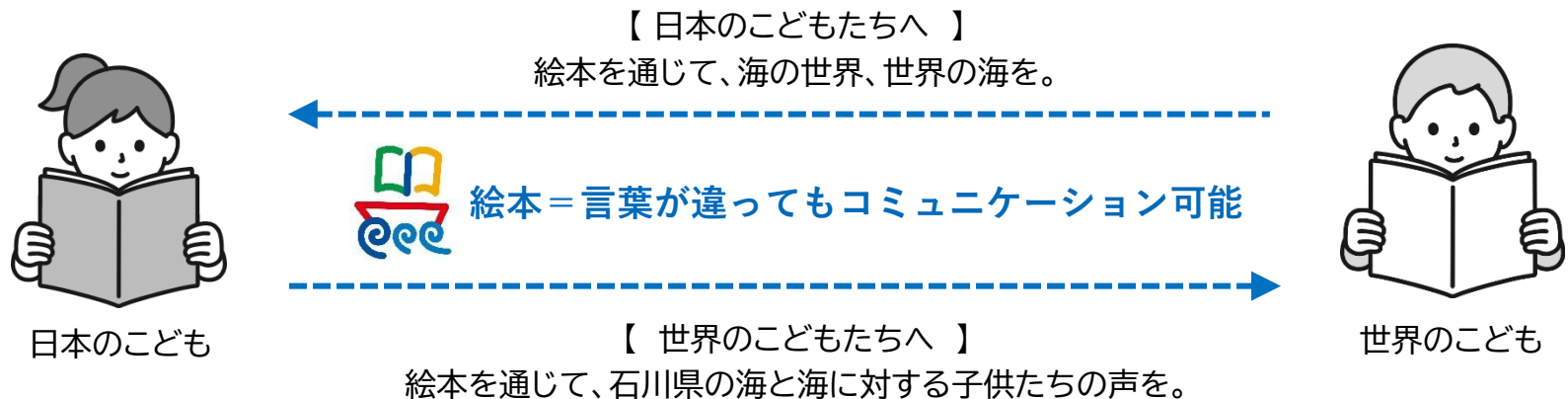
2025年度プロジェクトサポート ご協賛のお願い

親と子の絵本ワールド・インいしかわ実行委員会

当プロジェクトについて 活動内容のご紹介

当プロジェクトの目的

「世界へ旅する絵本ボート」は
「絵本」を通じて、こどもたちの「世界の海」への興味を広げ
世界と協力して海を守ることの大切さを届けること



こどもたちと一緒に、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を世界中へ広がります。

プロジェクトへの参加者について

【後援】

石川県教育委員会・県内全市町村からの後援事業

【メイン参加者】

小学生のお子さんのいるファミリー層

【2024年度 プロジェクト接触人数】

約 50,000人

【2023 キッズデザイン賞 受賞】

子どもや子どもの産み育てに配慮したすべての製品・サービス・空間・活動・研究などを対象として顕彰する「キッズデザイン賞」を“子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門”にて受賞しました。

【2024いしかわエコデザイン賞 受賞】

持続可能な社会の実現に向けて生み出された、石川発の優れた「製品」「サービス・建築」「教育・社会活動」を発信することも目的とした表彰。当プロジェクトは「教育・社会活動」部門にて“パブリシティ賞”を受賞しました。

2025年度の活動概要(予定)



PROJECT 1

せかいの海のおはなし展

- ・日本と世界の「海」に関わる絵本を集めた絵本展
- ・石川県内の7図書館以上で展示



PROJECT 2

せかいの海のおはなし会

- ・世界の海がテーマの絵本を読み聞かせるよみきかせ会
- ・石川県立図書館で実施を予定



PROJECT 3

せかいこども海会議

- ・実際の生みの探検をふまえて、うみをまもるためのディスカッションを実施



PROJECT 4

漂着モンスターワークショップ & 作品募集キャンペーン

- ・海で拾った漂着物でつくる「漂着モンスター」とその物語を創作するワークショップ、作品募集キャンペーンを小学生を対象に実施。



PROJECT 5

絵本制作&海外図書館交流

- ・上記作品募集キャンペーンで募集した「漂着モンスター」が登場する絵本を制作し、石川県内～世界の図書館へ届ける。



PROJECT 6

「能登半島地震の被災地応援」施策

- ・のと鉄「うみの本棚」の設置
- ・能登エリアでの「漂着モンスターワークショップ」の実施

詳細は
プロジェクトHPを
ご覧ください！



①せかいの海のおはなし展【7月～8月】

世界の海や、海の環境問題について考える絵本の企画展示を県内図書館で展開。

絵本に興味を持ってもらえるようなキャプションや紹介文とともに展示。



こども～大人まで、世代問わず関心を持たれる人気展示。
2025年度も継続開催、開催エリア拡大を試みる。

【2025年度開催予定図書館】

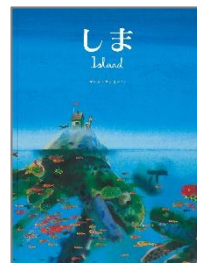
- ・石川県立図書館
- ・金沢市立金沢海みらい図書館
- ・金沢市立玉川こども図書館
- ・小松市立空とこども絵本館
- ・学びの杜のいち カレード
- ・かほく市立中央図書館
- ・七尾市立図書館

+ @

【選書絵本一例】



● うみのむこうは



しま



イワシ大王のゆめ



漂流物

②せかいの海のおはなし会【7月～8月】

「海」がテーマの絵本の読み聞かせ会を開催。

海に関する手あそびや、海に暮らす生き物の紹介なども入れて海への関心を高める。

プロジェクトのシンボルイベントとして1回開催へ。

※未就学児～小学生低学年を対象とするため、規模を縮小



【2025年度開催予定図書館】

- ・石川県立図書館
- ・金沢市立金沢海みらい図書館
- ・小松市立空とこども絵本館
- ・七尾市立図書館

のいずれか1～3図書館より、
会場規模や日程などを考慮して
開催図書館を選定。

おはなし会の会場には大きなアースボール
が登場します。私たちの身近な海は「世界
とつながる存在」であることをアースボール
を用いてイメージを膨らませ、そして
たった一つの海が海洋ゴミ問題で困ってい
る現状についても、親子で考えます。



③アウトドア！せかいのこども海会議【7月～8月】

在日外国人ゲストや海の専門家から「海の中」や「海のむこう」のはなしを聞き、
「自分たちが海を守るためにできること」を話し合うシンポジウム。



2025年度はゲストとともに海へと飛び出すアウトドア版で開催！
自らの体験、五感を通して、身近な海への理解を深める。

場所：能登千里浜レストハウス内⇄千里浜（想定）

時間：14:00～16時半

ゲスト：海外出身ゲスト / 海の専門家

内容：①ゲストから世界の海、海の中、海に関わる生活や文化のお話をきく。（質疑応答など含む）
②実際に千里浜へ赴き「ネイチャービンゴ」を通して身近な海への理解を深める。
③世界の海と身近な日本の海のちがいについて、フィールドワークでの発見を意見交換。
「海をまもるために出来ることは？」をワールドワイドな視点で考える。



④漂着モンスターワークショップ&キャンペーン【7月～8月】

海で拾った漂着物を使って、絵本作家の“竹与井かこ”さんと
オリジナルの「漂着モンスター」を創作するワークショップを開催。
こどもたちが実際に海に赴き、漂着物の軌跡とものがたりについて考える。

大人気イベントにつき、イベントの複数開催
開催エリアの拡大を目指す。



参加者アンケートより
イベント満足度

97%

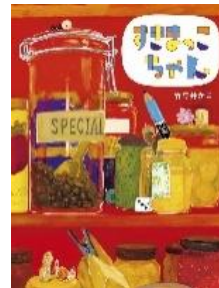
(無回答が1票のみ)

【講師絵本作家：竹与井かこさん】



笹井信吾さん
畑中宝子さんによる
絵本作家ユニット。
石川県加賀市在住。

【代表作品】



⑤絵本制作【9月～1月】

海で拾った漂着物でつくる「漂着モンスター」とその物語の作品を募集。

選考作品は絵本作家の監修のもと、1冊の絵本として制作。

制作絵本は石川県内の小学校と図書館、海外姉妹都市への寄贈します。



【応募作品一例】



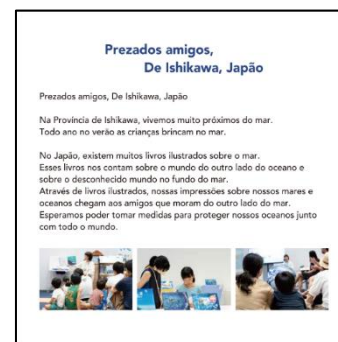
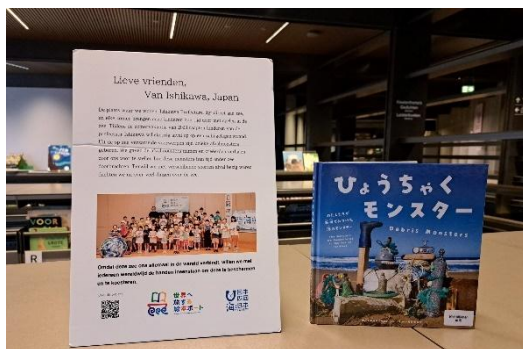
⑤海外図書館への絵本寄贈 & 展示【1月～2月】

国際姉妹都市の図書館へプロジェクトで制作した絵本と、日本の海の絵本を寄贈。

制作絵本によって、石川のこどもたちの海への想いを世界に届ける。

【2024年度の絵本寄贈都市・図書館】

- アメリカ/Bufalo and Erie County Public Library
- ブラジル/EMEF ネウサ・グーラート・ブリゾラ校
EMEF ジルベルト・ジョルジ・ゴンサルヴェス・ダ・シルヴァ校
EMEF マリオ・キンタナ校、EMEF アナ・イリス・ド・アマナル校、
ポルト・ノーヴォ市立小学校
- ベルギー/Bibliotheek De Krook
- フランス/ナンシー自然博物館、ナンシー大学病院こども病院図書館
- 韓国/全州市立図書館コッシム
- ニュージーランド/HB Williams Memorial Library
- レバノン/展示場所調整中



ポルトガル語、フランス語、オランダ語、韓国語の各4か国分の翻訳冊子を制作

⑤奥能登応援：のと鉄道「うみの本棚」【7月～8月】

のと鉄道の車両内に「うみ」がテーマの絵本が借りられる本棚を設置。

「うみ」の存在をポジティブにとらえなおせる絵本を、のと鉄を利用する人へ届ける。

能登半島地震の津波被害の影響があった中、海でのたのしい思い出が蘇るような絵本、海の世界にワクワクするような絵本にふれる機会を創出し、こどもたちをはじめ、能登に住まう人々の”うみ”に対してフラットな視点を取り戻すことを目指す。



⑤奥能登応援：漂着モンスターワークショップ【7月～10月】

能登エリアの図書館(能登町立中央図書館を会場に現在調査中)にて、「漂着モンスターワークショップ」のイベントを実施。

イベント開催を通して、現地コミュニティの活性化や、人々が集う賑わいのきっかけづくりを目指す。



漂着物でテーマに沿った作品作りに挑戦！

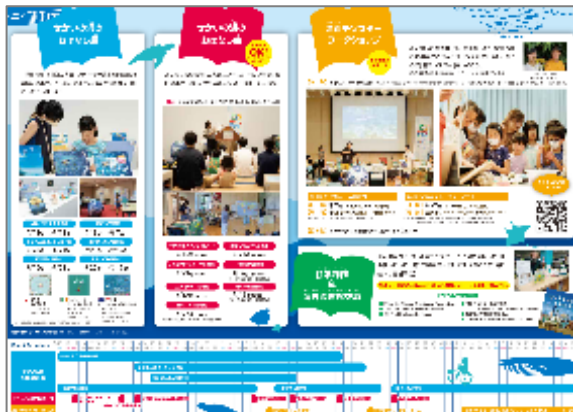


広報について

2025年度も引き続き、プロジェクト接触人数の最大化を図るため、小学生への広報として非常に有効的な校内配布用リーフレットを石川県内の全小学校に配布。

制作絵本も県内全小学校、全図書館へ寄贈することで、石川県内でのより一層の認知獲得を目指す。

【2024年度リーフレット】



【北國新聞紙面の一部】



【県内リーチ概算】

石川県内小学校	202校、生徒約55,000人
石川県内図書館	約40か所
北國新聞購読者	約290,000部

子どもたちの未来と、 海の未来をつなぐために。



石川県に生まれた子どもたちが、海の向こうの国々に思いを馳せ、
絵本を通じて、世界の子どもたちと心を通わせる。
そこには、言葉や文化を越えて共鳴する「海を大切にしたい気持ち」があります。

このプロジェクトは、未来の地球市民である子どもたちが、
「海を守ること」を自分ごととして考え、行動へとつなげていく――
そのきっかけを育む取り組みです。

貴社のサポートが、その学びとメッセージを
ここ石川から世界へと届ける力になります。

私たちは今、
この思いとともに漕ぎ出してくださるサポートパートナーを募集しています。